

【開会 午後4時00分】

- 1 開 会
- 2 出席委員の報告
- 3 競輪事業部長挨拶

○伊与部部長 皆様、こんにちは。函館市競輪事業部長の伊与部でございます。函館市競輪運営協議会の開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本日、委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しい中、またこのような悪天候の中、ご出席をいただきまして、誠に感謝しております。

また、日頃より、市営函館競輪の運営に関し、ご理解とご協力をいただき、この場を借りて心より感謝を申し上げます。

さて、令和3年度の市営函館競輪は、包括受託者が変更となったことに加え、引き続き新型コロナウイルスが全国的に広がりを見せる中で行うこととなりましたが、開催にあたっては、業界ガイドラインや対策要綱の内容を踏まえ、市が独自に定めた対策要領により新型コロナウイルス感染防止対策を万全に講じ、競技内容につきましても、参加選手の削減のため令和2年度から継続して行っている7車立てに変更しながら開催関係者の皆様のご協力のもと、開催を中止することもなく全日程を無事、終えることができましたところでございます。

特に令和3年度は、5月に開催したGⅢグレードの記念競輪だけでなく、7月には6年ぶりにGⅡグレードの特別競輪サマーナイトフェスティバルを開催し、コロナ禍でイベントの縮小や入場制限を設けながらではございましたが、新たな包括受託者とも十分に連携し、感染対策を万全に実施した上でお客様にご来場いただき、競輪の魅力に触れていただいたことに加え、全国の競輪ファンの方々に対してもインターネット等を通じて函館競輪の魅力を十分に発信することができました。

売上につきましては、昨年9月の運営協議会でもご報告させていただいたとおり電話・インターネット売上が好調であったこと等により、弾力条

項を適用し、売上予算を当初予算の222億円から45億円増の267億円に変更し、全開催終了後の売上についても弾力条項適用後の予算をさらに上回る、約268億円となったところでございます。

売上については、全国の43競輪施行者の中で、従来、函館は20位程度であります。昨年度に関しては全国で第6位にまで上がっている状況でございます。

その結果、令和2年度に引き続き、一般会計への繰出しを行ったほか、競輪場施設の計画的な改修を実施していくための平成29年度に条例により設置した施設整備基金につきましては、約6億7千万円を積み立てることができ、現在の基金残高は約13億円となったところです。

今後も一般会計への繰出し、基金の積み立ての増額を目指し、競輪事業部の使命である「財政への貢献」と「自転車競技の振興・発展」を、北海道唯一の競輪場として、継続してまいりたいと考えております。

一方、令和4年度の市営函館競輪におきましては、新型コロナウイルス感染症の終息がまだまだ見えないところではございますが、5月にGⅢグレードの函館記念競輪をナイトで開催したほか、8月には令和2年度に引き続き2度目となるGⅢナイト「函館ミリオンナイトカップ」を開催し、3年ぶりとなる有名芸能人等を招いてのステージショーを行ったほか、来場された子供の方にはお菓子をお配りしたりして、保護者や子供たちにも楽しんでいただき、初めて来場されたお客様が競輪の買い方、予想の仕方を知りたいということでガイダンスコーナー等に相談にいらっしゃるなど、多くのお客様に競輪の魅力に触れていただくことができました。

また、函館競輪にとってとても喜ばしいニュースがございますので、この場をお借りしてお知らせいたします。

GⅡグレードの特別競輪「サマーナイトフェスティバル」の令和5年度の開催場が函館競輪場に決定いたしました。

函館競輪場においては、令和3年度に開催したばかりで次は2年ぶり、5度目の開催となりますが、職員・関係者が一丸となって積極的な誘致に取り組んだ結果、競輪中央団体の審査の結果、短期間で再度、開催場として選定されたと認識しております。

特別競輪の開催は、地元や全国のファンの皆様に函館競輪の魅力を、より一層発信する大きなチャンスでありますのでこのチャンスを十分に生かし、ナイター発祥の地として令和5年度の函館競輪を大いに盛り上げたいと考えております。

本日の報告事項は、令和3年度自転車競走特別会計決算（案）および令和4年度の市営函館競輪売上状況、ならびに令和4年度下期の函館競輪開催日程でございます。

また、今年度は、昨年度に引き続き売上が当初の見込みより好調であり払戻金をはじめとした売上に連動する経費に不足を生じることから、地方自治法等に基づき、市長専決で予算の増額を行う弾力条項の適用を本日付でさせていただきましたので、その件につきましても、併せてご報告させていただきます。

本日は限られた時間ではございますが、どうぞよろしく願いいたします。

4 議題

(1) 報告事項

①令和3年度自転車競走事業特別会計決算（案）について

（資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明）

○今井会長 質問等ないか

（各委員：特になし）

②令和4年度市営函館競輪売上状況について

(資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明)

○今井会長 質問等ないか

○大門委員 今年も弾力条項を適用するほどの売上が見込まれているということで、大変喜ばしく思う。

その他に参考資料等を見ると色々なイベント等を開催しているということで、職員の皆さんが企画とかでご苦労されたものが数字にも表れていると感じる。

ガールズケイリンについてだが、今後の方向性とガールズケイリンを行うメリットについて教えてほしい。

○小林課長 今お尋ねのあったガールズケイリンの状況であるが、令和2年度は5開催、令和3年度は7開催、令和4年度は8開催ということで、年々増えている状況である。

今年度については、今後は9月3日からの開催の他、10月に2開催、計3開催を予定している。

ガールズケイリンを行うメリットについてだが、ガールズケイリンが始まって約10年経過する中、新しいファンが一定数ついており、開催時には男子競輪にプラスした新しいファンが本場に来場していると考えている。

その他、普通開催でガールズケイリンを行うことで番組(トーナメント)が1つ増えるため、最終日の決勝戦が1開催増えることで、売上の増を見込めることなどがメリットとしてある。

○大門委員 了解した。

○今井会長 先ほど部長から来年またサマーナイトフェスティバルを開催

するという話があった。特別競輪はそんなに簡単に誘致できないと思うが2年ぶりという短い期間での誘致となっている。何か特別な努力をしたのか。

○伊与部部長 GIIグレード以上の特別競輪となると、開催を希望する競輪場は全国で何か所も出てくる。そのような中で今回のサマーナイトフェスティバルに関しては全国で7場が募集に応募したという状況である。

その中で、選定は最高会議という競輪業界の上層部でなされることとなるが、各競輪場の申請内容を審査した中で決定される。

当然その審査の内容は、非公開なので詳細は我々にもわからないが、実施にあたっての計画性や、新たな発想、集客に関する企画内容などを総合的に審査していると聞いている。

我々は、前回、令和3年度のサマーナイトフェスティバルにおいても、ご承知のとおり、光の演出としてバンク内のLEDイルミネーションや、プロジェクトマッピングなど、特色のある演出を行っている。

私が以前いた職場で経験したことなどもそういったところにフィットさせながら面白みを出して企画し、皆様の協力もあって今回選定されたと考えている。

○今井会長 幅広い集客のためのアイデアも盛り込まれて、それが評価された面もあると理解した。

○穴田委員 今回の誘致成功は、まず伊与部部長の力が大きいと私は思う。来年は部長が変わることなので、そのあたりも含めて、後任の方には頑張ってもらいたいと思う。

併せて売上の方だが、相対的に見て電話投票、CTCの売上が落ちているが、これは全国的な傾向なのか、原因はわかっているのか。

函館も記念は予算よりも良かったが、他の開催は全て予算を下回っている。全体は相対的には上がっているが、電話投票の売上減には何か理由がある

のか。

○伊与部部長 CTCに関してだが、これは全国競輪施行者協議会というところが運営している。最近、インターネット売上の中で民間ポータルサイトがどんどん売上を伸ばしているが、業界ポータルサイトである CTC は我々開催運営側から見ると発売経費率が低く、経費が掛からないため、本来は売上を伸ばしていくべきものである。

昨今、民間ポータルサイトが他業界等から参入し高い発売経費を原資に、お客様に高還元率のキャンペーン等を打ち出す等しており、お客様が CTC からそちらに流れている状況である。CTC もそれなりに経費率を上げて対抗すればいいという話もあるが、なかなか難しい面もあり、業界の課題として我々も議論に関わっている。

一方で民間ポータルサイトの新規顧客開拓の努力の結果、全体の売上が伸びているという面もある。

CTC の顧客は古くからの競輪ファンが多いことから、9車立てである G グレードでは CTC が売れる傾向にある。他の7車立ての普通開催やさらに無観客でインターネット投票のみのミッドナイト競輪など、開催によって CTC の売上構成比は当然変わってくるものと分析している。

○穴田委員 事業者が変わったことによって CTC の売上が落ちたということか。全国的にはどうなのか。

○伊与部部長 事業者は変わっておらず、全国的にも開催当たりでは漸減傾向にあると認識している。

○今井会長 その他、質問等ないか

(各委員：特になし)

③令和4年度函館競輪下期開催日程について

(資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明)

○今井会長 質問等ないか

(各委員：特になし)

(2)その他

○小林事業課長 今年度の売上報告については、全開催が終了する10月に書面にてご報告させていただく。

また、次回の運営協議会開催日程は、令和5年2月頃を予定しており、日程の詳細が決定後、別途ご案内させていただく。

○今井会長 他に何かあるか。

○伊与部部長 先ほどガールズケイリンについての質問があったが、10月には2開催、ガールズケイリンの開催がある。今回、トップクラスの選手が出場予定であることから、この機会にトークショー等を開催できないかと今、検討している。そのようなことも含め、是非10月の2開催についても、皆様にご来場いただければと思っているので、よろしく願います。

○穴田委員 今かなり売上も良くなって、一般会計にも繰出せるような状況になってきた。これは事業部の職員、それから包括受託者の努力だと思う。

過去には、運営協議会委員の方々の誰かを、代表される方の一人なり二人なりが特別競輪、G I G IIレースを視察に行っていた経緯がある。

委員の方々も、例えば他の競輪場はどのように運営しているのか、等、特に会長には行って理解を深めてもらうのもいいんじゃないかなと私は思っている。

予算が必要になるため、これまでは赤字を抱えていたからなかなか難しかったと思うが、今は部長の行動力、努力によって利益も上がってきている状況なので、そのような視察を実施してもいい時期だと思う。

それで他の競輪場を見る、特別競輪を見るということで、運営協議会委員の方々も競輪事業に対する理解度が深まるんじゃないかと考えているので、是非その辺のところも検討していただきたい。

○伊与部部長 今、穴田委員から行政視察の件についてご意見があった。過去には運営協議会委員等も含めた行政視察等を実施していたと思う。確かに委員の皆さまに他場における競輪事業を見ていただきたいという思いもある。それらの状況を踏まえながら今後競輪事業部で検討して参りたいと考えているので、よろしく願います。

○今井会長 それでは、今回は2月ということで願います。

= 以上をもって終了 =